

緊急メッセージ

教職員の皆さんには、平素から学校教育の充実に誠心誠意取り組み、児童生徒の健全育成に力を発揮していただいておりますことに、心から感謝いたします。

こうした皆さんのたゆまぬ努力によって築き上げられてきた学校教育に対する信頼は、今、一部の教職員による不祥事により、著しく損なわれております。

特に、最近発生した不祥事の中には、飲酒運転、わいせつ行為、セクシュアル・ハラスメントなど、教職員としてのみならず社会人としての資質を疑われる事案が多く、事態は極めて深刻であるといわざるを得ません。

今まさに、私たち一人一人の姿勢が問われています。

私たちは、失われつつある教職員に対する信頼を早急に回復するため、それぞれの立場で最大限の努力をしなければなりません。

私たちは、教育に携わる者として、その崇高な使命を深く自覚し、倫理観を高めるとともに、自らを振り返り、また、お互いに確認するなどして、服務規律の確保に努めていかなければなりません。

「子どもたちは私たちの姿を見て育ちます」

このことを心に刻み、県民の皆様の期待に応える学校教育を、ともに創造してまいります。

平成19年12月5日

広島県教育委員会
教育長 榎田好一

緊急アピール

平素から児童生徒の「幸せづくり」に精力的に御尽力いただいている御苦労に敬意を表しますとともに、衷心より厚くお礼申し上げます。

さて、「人は、人によって、人になる」と申します。真に琴線に触れる「師」との出会いこそが、「真の教育」です。

すなわち、教職は一国の将来を決める最も重要な「人づくり」であり、天職といわれる由縁でもあります。その使命は、言葉には尽しえない、重大な責務を担っていると言えましょう。

誠に遺憾なことですが、適正な服務に関する度重なる申し合わせにもかかわらず、一部の人による相次ぐ不祥事によって、教育に対する県民の信頼が著しく損なわれ、痛恨の極みです。

この10年余り、教育に携わる者が総力をあげて、本県教育全般に対する信頼を取り戻しつつあった実績を、さらに前進させるためにも、「真の教育者」とはいかにあるべきか、一人一人に次のことをあらためて求めます。

- 1 高い倫理観、使命感を持って「教育」に精励してください。「師」としての尊厳を胸に、常に研鑽を行い、「児童生徒の幸せづくり」に邁進してください。
- 2 教職員の仲間とコミュニケーションやチームワークを図り、課題や悩みを共有し、速やかに解決するよう心掛けてください。
- 3 「児童生徒の幸せづくり」はもちろん、「地域の人々」「自分の家庭」それぞれの幸福を常に念頭において、日々の行動に努めてください。
- 4 県民の負託に応える教育を実践するために、教育に係わる者全員が心新たに、県民の信頼回復のために精励しましょう。

平成23年3月10日

広島県教育委員会委員長 平田 克明